



## 2023年10月期 決算短信(日本基準)(連結)

2023年12月11日

上場会社名 アイ・ケイ・ケイホールディングス株式会社

上場取引所 東

コード番号 2198 URL <https://www.ikk-grp.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長CEO (氏名) 金子 和斗志

問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部長 (氏名) 永島 和也

TEL 050-3539-1122

定時株主総会開催予定日 2024年1月30日

配当支払開始予定日 2024年1月31日

有価証券報告書提出予定日 2024年1月30日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年10月期の連結業績(2022年11月1日～2023年10月31日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年10月期	21,990	15.4	1,955	8.1	2,005	4.3	1,340	4.2
2022年10月期	19,056	65.3	1,808		2,096		1,398	

(注) 包括利益 2023年10月期 1,348百万円 ( 8.5%) 2022年10月期 1,473百万円 ( %)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2023年10月期	45.93		14.0	9.9	8.9
2022年10月期	47.48		16.7	11.1	9.5

(参考) 持分法投資損益 2023年10月期 百万円 2022年10月期 百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年10月期	20,012	10,050	50.0	341.68
2022年10月期	20,251	9,170	45.1	309.49

(参考) 自己資本 2023年10月期 10,014百万円 2022年10月期 9,139百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年10月期	1,665	1,685	874	4,917
2022年10月期	3,497	750	426	5,800

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2022年10月期		0.00		10.00	10.00	299	21.1	3.5
2023年10月期		0.00		24.00	24.00	703	52.3	7.4
2024年10月期(予想)		0.00		24.00	24.00		48.5	

### 3. 2024年10月期の連結業績予想(2023年11月1日～2024年10月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	10,830	9.0	570	105.5	580	90.8	305	170.7	10.62
通期	23,350	6.2	2,130	8.9	2,145	7.0	1,420	5.9	49.52

注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 社 (社名) - 、 除外 社 (社名) -

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
 以外の会計方針の変更 : 無  
 会計上の見積りの変更 : 無  
 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料12ページ「3.連結財務諸表及び主な注記(5)連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年10月期	29,956,800 株	2022年10月期	29,956,800 株
期末自己株式数	2023年10月期	645,632 株	2022年10月期	427,349 株
期中平均株式数	2023年10月期	29,178,772 株	2022年10月期	29,458,200 株

(参考)個別業績の概要

2023年10月期の個別業績(2022年11月1日～2023年10月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年10月期	3,917	54.9	1,163	531.8	1,190	280.7	1,125	591.3
2022年10月期	2,529	76.7	184		312		162	

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2023年10月期	38.57	
2022年10月期	5.53	

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
2023年10月期	14,669		8,588		58.5		293.00	
2022年10月期	14,404		7,939		55.1		268.86	

(参考) 自己資本 2023年10月期 8,588百万円 2022年10月期 7,939百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1.経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	3
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 連結貸借対照表 .....	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	6
連結損益計算書 .....	6
連結包括利益計算書 .....	7
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(会計方針の変更) .....	11
(セグメント情報等) .....	11
(1株当たり情報) .....	11
(重要な後発事象) .....	12
4. その他 .....	13
役員の異動 .....	13

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度(2022年11月1日から2023年10月31日まで)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の分類が5類感染症へ移行したことに伴い、社会経済活動の正常化が進みインバウンド需要も回復傾向にある中、コロナ禍からの緩やかな持ち直しが続く一方で、各国との金利差による円安の進行に伴う資源価格の高騰や中東における地政学的リスクが高まっており、国内外の経済に与える影響が懸念され、依然として先行き不透明な状況が続いております。

ウェディング業界におきましては、社会経済活動の正常化に伴い集客イベント等も再開され挙式・披露宴の施行数は漸増傾向にあります。

このような状況の下、当社グループは、引き続きお客さまと社員の安全・安心を最優先事項と考え、最大限の感染防止対策を徹底した上で挙式・披露宴を実施してまいりました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は21,990百万円(前年同期比15.4%増)、営業利益は1,955百万円(同8.1%増)、経常利益は2,005百万円(同4.3%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は1,340百万円(同4.2%減)となりました。

なお、セグメント別の業績は次のとおりであります。

#### ① 婚礼事業

新型コロナウイルス感染症による様々な規制が緩和されるなか、引き続き感染防止対策を徹底したうえで挙式・披露宴を実施してまいりました。また、当連結会計年度(2023年4月)に「The迎賓館 偕楽園 別邸」(水戸支店)をオープンいたしました。

その結果、売上高は21,007百万円(前年同期比13.9%増)、営業利益は2,008百万円(同6.3%増)となりました。

#### ② 介護事業

当連結会計年度(2023年3月)に「アイケアライブ伊万里」(伊万里2号店)がオープンしたこと等により売上高は592百万円(前年同期比8.6%増)となりましたが、開業費用等により営業損失は11百万円(前年同期は2百万円の営業損失)となりました。

#### ③ 食品事業

売上高は260百万円(前年同期比43.0%増)、営業利益は59百万円(同49.9%増)となりました。

#### ④ フォト事業

前連結会計年度(2021年11月)にフォト事業を展開する子会社を設立し、当連結会計年度(2023年3月)に「studio clori.NAGOYA」(名古屋支店)をオープンいたしました。

その結果、売上高310百万円(前年同期は14百万円の売上高)となりましたが、開業費用等により営業損失は49百万円(前年同期は87百万円の営業損失)となりました。

#### ⑤ 結婚仲介事業

前連結会計年度(2021年11月)に結婚仲介事業を展開する子会社を設立し、売上高は12百万円(前年同期は1百万円の売上高)、営業損失は50百万円(同29百万円の営業損失)となりました。

### (2) 当期の財政状態の概況

#### ① 資産

流動資産は、前連結会計年度末に比べ826百万円減少し6,376百万円となりました。これは主に、現金及び預金が880百万円、流動資産その他が69百万円それぞれ減少し、未収還付法人税等が164百万円増加したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ587百万円増加し13,635百万円となりました。これは主に、建物及び構築物が1,128百万円増加し、建設仮勘定が382百万円、差入保証金が149百万円それぞれ減少したことによるものであります。

#### ② 負債

流動負債は、前連結会計年度末に比べ2,501百万円減少し5,103百万円となりました。これは主に、短期借入金が2,000百万円、流動負債その他が676百万円それぞれ減少したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ1,381百万円増加し4,858百万円となりました。これは主に、長期借入金が1,255百万円増加したことによるものであります。

#### ③ 純資産

純資産は、前連結会計年度末に比べ880百万円増加し10,050百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する当期純利益1,340百万円の計上による増加、剰余金配当299百万円による減少の他、自己株式の取得及び売却により自己株式が170百万円減少したことによるものであります。以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ4.9ポイント上昇し50.0%となりました。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ883百万円（前年同期比15.2%減）減少し4,917百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## ①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は、1,665百万円（前年同期比52.4%減）となりました。主な収入要因は、税金等調整前当期純利益2,098百万円、減価償却費1,094百万円、賞与引当金の増加額77百万円、仕入債務の増加額62百万円、契約負債の増加額163百万円、未収消費税等の減少額128百万円であり、主な支出要因は、未払金の減少額155百万円、未払消費税等の減少額528百万円、法人税等の支払額1,388百万円であります。

## ②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は、1,685百万円（前年同期比124.6%増）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出1,802百万円であります。

## ③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果使用した資金は、874百万円（前年同期比105.0%増）となりました。主な収入要因は、長期借入れによる収入2,670百万円であり、主な支出要因は、短期借入金の純減少額2,000百万円、長期借入金の返済による支出1,075百万円、自己株式の取得による支出400百万円であります。

## (参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2019年10月期	2020年10月期	2021年10月期	2022年10月期	2023年10月期
自己資本比率 (%)	59.8	44.1	43.0	45.1	50.0
時価ベースの自己資本比率 (%)	97.6	106.9	112.7	91.9	94.8
キャッシュ・フロー 対有利子負債比率 (年)	1.8	—	2.0	1.4	2.6
インタレスト・カバレッジ・ レシオ (倍)	110.0	—	119.6	211.0	85.3

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

(注) 1. いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

2. 株式時価総額は、自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

3. キャッシュ・フローは、連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。

4. 有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。

5. 利払いにつきましては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

6. 2020年10月期の「キャッシュ・フロー対有利子負債比率」及び「インタレスト・カバレッジ・レシオ」については、営業キャッシュ・フローがマイナスのため、記載しておりません。

## (4) 今後の見通し

次期の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の分類が5類感染症に移行したことに伴い、社会経済活動の正常化が進んでおります。

そのような状況の中、足元において婚礼施行組数及びゲスト数が回復傾向にあることを背景に、売上高は23,350百万円（当連結会計年度比6.2%増）、営業利益は2,130百万円（同8.9%増）、経常利益は2,145百万円（同7.0%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は1,420百万円（同5.9%増）を見込んでおります。

なお、上記業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって大きく異なる可能性があります。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、今後につきましては、国内外の諸情勢等を踏まえ、国際会計基準の適用について検討を進めていく方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年10月31日)	当連結会計年度 (2023年10月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,891,686	5,011,277
売掛金	459,639	447,796
商品	240,238	204,467
原材料及び貯蔵品	82,897	91,029
未収還付法人税等	2,256	166,706
その他	534,797	465,000
貸倒引当金	△7,974	△9,596
流動資産合計	7,203,541	6,376,681
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	19,230,015	21,169,625
減価償却累計額及び減損損失累計額	△11,435,264	△12,246,714
建物及び構築物（純額）	7,794,750	8,922,911
機械装置及び運搬具	66,391	76,335
減価償却累計額	△40,000	△53,084
機械装置及び運搬具（純額）	26,390	23,251
土地	1,850,919	1,850,919
建設仮勘定	386,758	4,026
その他	511,053	1,289,142
減価償却累計額	△286,858	△980,570
その他（純額）	224,195	308,572
有形固定資産合計	10,283,014	11,109,680
無形固定資産	160,306	163,724
投資その他の資産		
繰延税金資産	328,042	340,951
差入保証金	1,447,559	1,297,564
その他	849,337	746,560
貸倒引当金	△20,292	△23,158
投資その他の資産合計	2,604,647	2,361,918
固定資産合計	13,047,967	13,635,323
資産合計	20,251,509	20,012,005

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年10月31日)	当連結会計年度 (2023年10月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	853,784	915,516
短期借入金	2,150,000	150,000
1年内返済予定の長期借入金	774,796	1,114,458
未払法人税等	785,757	315,283
契約負債	1,058,745	1,225,544
賞与引当金	296,569	373,913
その他	1,685,111	1,008,858
流動負債合計	7,604,765	5,103,575
固定負債		
長期借入金	1,877,328	3,132,601
退職給付に係る負債	34,284	25,282
ポイント引当金	14,663	13,562
資産除去債務	1,064,951	1,199,356
繰延税金負債	3,350	16,877
その他	482,099	470,667
固定負債合計	3,476,677	4,858,347
負債合計	11,081,442	9,961,922
純資産の部		
株主資本		
資本金	351,655	351,655
資本剰余金	347,861	348,488
利益剰余金	8,629,766	9,671,036
自己株式	△252,415	△422,560
株主資本合計	9,076,868	9,948,620
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14,797	8,138
退職給付に係る調整累計額	14,183	11,866
為替換算調整勘定	33,214	46,349
その他の包括利益累計額合計	62,194	66,355
非支配株主持分	31,004	35,107
純資産合計	9,170,067	10,050,083
負債純資産合計	20,251,509	20,012,005

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年11月1日 至 2022年10月31日)	当連結会計年度 (自 2022年11月1日 至 2023年10月31日)
売上高	19,056,906	21,990,121
売上原価	7,816,582	9,102,767
売上総利益	11,240,324	12,887,354
販売費及び一般管理費	9,431,662	10,932,217
営業利益	1,808,661	1,955,137
営業外収益		
受取利息	10,661	13,657
受取保証料	24,123	16,060
受取手数料	8,697	11,179
雇用調整助成金	244,087	—
その他	29,333	38,712
営業外収益合計	316,903	79,609
営業外費用		
支払利息	16,309	19,391
リース解約損	5,905	—
その他	7,186	10,022
営業外費用合計	29,401	29,414
経常利益	2,096,163	2,005,332
特別利益		
補助金収入	—	122,626
特別利益合計	—	122,626
特別損失		
固定資産除却損	12,916	29,351
特別損失合計	12,916	29,351
税金等調整前当期純利益	2,083,247	2,098,607
法人税、住民税及び事業税	787,476	749,112
法人税等調整額	△96,318	5,989
法人税等合計	691,158	755,101
当期純利益	1,392,089	1,343,506
非支配株主に帰属する当期純利益又は非支配株主に 帰属する当期純損失(△)	△6,564	3,193
親会社株主に帰属する当期純利益	1,398,653	1,340,312

## (連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年11月1日 至 2022年10月31日)	当連結会計年度 (自 2022年11月1日 至 2023年10月31日)
当期純利益	1,392,089	1,343,506
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	14,797	△6,658
退職給付に係る調整額	△3,282	△2,319
為替換算調整勘定	70,335	14,048
その他の包括利益合計	81,849	5,070
包括利益	1,473,938	1,348,577
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,474,548	1,344,473
非支配株主に係る包括利益	△609	4,103

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2021年11月1日 至 2022年10月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	351,655	351,731	7,230,337	△340,466	7,593,258
当期変動額					
剰余金の配当					—
親会社株主に帰属する 当期純利益			1,398,653		1,398,653
自己株式の取得					—
自己株式の処分		△1,699		88,051	86,351
連結子会社株式の取得に よる持分の増減		△2,170			△2,170
連結子会社の清算による 増減			775		775
非支配株主との取引に係 る親会社の持分変動					—
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	△3,870	1,399,428	88,051	1,483,609
当期末残高	351,655	347,861	8,629,766	△252,415	9,076,868

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評 価差額金	退職給付に係る調 整累計額	為替換算調整勘定	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	—	17,472	△32,549	△15,076	26,411	7,604,593
当期変動額						
剰余金の配当						—
親会社株主に帰属する 当期純利益						1,398,653
自己株式の取得						—
自己株式の処分						86,351
連結子会社株式の取得に よる持分の増減					6,578	4,408
連結子会社の清算による 増減						775
非支配株主との取引に係 る親会社の持分変動						—
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	14,797	△3,289	65,763	77,271	△1,986	75,285
当期変動額合計	14,797	△3,289	65,763	77,271	4,592	1,565,473
当期末残高	14,797	14,183	33,214	62,194	31,004	9,170,067

当連結会計年度(自 2022年11月1日 至 2023年10月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	351,655	347,861	8,629,766	△252,415	9,076,868
当期変動額					
剰余金の配当			△299,042		△299,042
親会社株主に帰属する 当期純利益			1,340,312		1,340,312
自己株式の取得				△400,031	△400,031
自己株式の処分		△523		229,886	229,363
連結子会社株式の取得に よる持分の増減					—
連結子会社の清算による 増減					—
非支配株主との取引に係 る親会社の持分変動		1,150			1,150
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	626	1,041,270	△170,144	871,752
当期末残高	351,655	348,488	9,671,036	△422,560	9,948,620

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評 価差額金	退職給付に係る調 整累計額	為替換算調整勘定	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	14,797	14,183	33,214	62,194	31,004	9,170,067
当期変動額						
剰余金の配当						△299,042
親会社株主に帰属する 当期純利益						1,340,312
自己株式の取得						△400,031
自己株式の処分						229,363
連結子会社株式の取得に よる持分の増減						—
連結子会社の清算による 増減						—
非支配株主との取引に係 る親会社の持分変動						1,150
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△6,658	△2,316	13,135	4,160	4,103	8,264
当期変動額合計	△6,658	△2,316	13,135	4,160	4,103	880,016
当期末残高	8,138	11,866	46,349	66,355	35,107	10,050,083

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年11月1日 至 2022年10月31日)	当連結会計年度 (自 2022年11月1日 至 2023年10月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	2,083,247	2,098,607
減価償却費	1,011,121	1,094,336
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	3,611	4,486
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△2,926	77,323
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△7,888	△12,495
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	△2,152	△1,101
補助金収入	—	△122,626
雇用調整助成金	△244,087	—
固定資産除却損	12,916	29,351
受取利息及び受取配当金	△10,661	△13,657
支払利息	16,309	19,391
リース解約損	5,905	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△140,980	10,708
棚卸資産の増減額 (△は増加)	53,038	27,642
仕入債務の増減額 (△は減少)	264,949	62,007
未払金の増減額 (△は減少)	249,388	△155,125
契約負債の増減額 (△は減少)	31,875	163,812
未払消費税等の増減額 (△は減少)	346,134	△528,134
未収消費税等の増減額 (△は増加)	△230,140	128,747
その他	△141,576	63,638
小計	3,298,084	2,946,914
利息及び配当金の受取額	6,971	9,030
利息の支払額	△16,572	△19,520
補助金の受取額	—	115,075
雇用調整助成金の受取額	244,087	—
法人税等の還付額	—	2,296
法人税等の支払額	△35,233	△1,388,030
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,497,336	1,665,767
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
投資有価証券の取得による支出	△99,997	—
有形固定資産の取得による支出	△701,249	△1,802,432
無形固定資産の取得による支出	△38,301	△38,836
その他	89,139	155,899
投資活動によるキャッシュ・フロー	△750,409	△1,685,369
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	50,000	△2,000,000
長期借入れによる収入	229,550	2,670,000
長期借入金の返済による支出	△792,253	△1,075,065
自己株式の取得による支出	—	△400,031
自己株式の売却による収入	82,162	227,699
配当金の支払額	△623	△298,614
その他	4,408	1,150
財務活動によるキャッシュ・フロー	△426,756	△874,861
現金及び現金同等物に係る換算差額	47,041	11,054
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,367,213	△883,409
現金及び現金同等物の期首残高	3,433,473	5,800,686
現金及び現金同等物の期末残高	5,800,686	4,917,277

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当連結会計年度の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、当該会計方針の変更による連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

前連結会計年度(自 2021年11月1日 至 2022年10月31日)及び当連結会計年度(自 2022年11月1日 至 2023年10月31日)

当社グループの報告セグメントは、婚礼事業、介護事業、食品事業、フォト事業及び結婚仲介事業であります。介護事業、食品事業、フォト事業及び結婚仲介事業の全セグメントに占める割合が僅少であり、開示情報としての重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2021年11月1日 至 2022年10月31日)	当連結会計年度 (自 2022年11月1日 至 2023年10月31日)
1株当たり純資産額	309円49銭	341円68銭
1株当たり当期純利益	47円48銭	45円93銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2021年11月1日 至 2022年10月31日)	当連結会計年度 (自 2022年11月1日 至 2023年10月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	1,398,653	1,340,312
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	1,398,653	1,340,312
普通株式の期中平均株式数(株)	29,458,200	29,178,772

3. アイ・ケイ・ケイホールディングス従業員持株会専用信託が所有する当社株式を、「1株当たり純資産額」の算定上、期末発行済株式総数から控除する自己株式に含めております。(前連結会計年度末374,800株、当連結会計年度末0株)

また、「1株当たり当期純利益」の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。(前連結会計年度440,524株、当連結会計年度217,245株)

## (重要な後発事象)

## (「信託型従業員持株会インセンティブ・プラン (E-Ship®)」の再導入)

当社は、2023年12月11日開催の取締役会において、当社グループ従業員に対する当社の中長期的な企業価値向上へのインセンティブの付与を目的として、「信託型従業員持株会インセンティブ・プラン (E-Ship®)」(以下、「本プラン」という。)の再導入を決議いたしました。

## 1. 本プランの概要

本プランは、「アイ・ケイ・ケイホールディングス従業員持株会」(以下「持株会」という。)に加入する全ての従業員を対象とするインセンティブ・プランです。本プランでは、当社が信託銀行に「アイ・ケイ・ケイホールディングス従業員持株会専用信託」(以下、「E-Ship信託」という。)を設定し、E-Ship信託は、今後4年9ヶ月間にわたり持株会が取得すると見込まれる数の当社株式を予め取得します。その後は、E-Ship信託から持株会に対して継続的に当社株式の売却が行われると共に、信託終了時点でE-Ship信託内に株式売却益相当額が累積した場合には、当該株式売却益相当額が残余財産として受益者適格要件を満たす者に分配されます。なお、当社は、E-Ship信託が当社株式を取得するための借入に対し保証することになるため、当社株価の下落によりE-Ship信託内に株式売却損相当額が累積し、信託終了時点においてE-Ship信託内に当該株式売却損相当の借入金残債がある場合は、当社が当該残債を弁済することになります。

## 2. E-Ship信託の概要

- (1) 名称： アイ・ケイ・ケイホールディングス従業員持株会専用信託
- (2) 委託者： 当社
- (3) 受託者： 野村信託銀行株式会社
- (4) 受益者： 受益者適格要件を満たす者(受益権確定事由の発生後一定の手続を経て存在するに至りません。)
- (5) 信託契約日： 2023年12月11日
- (6) 信託の期間： 2023年12月11日～2028年9月25日(予定)
- (7) 信託の目的： 持株会に対する安定的かつ継続的な株式の供給及び受益者適格要件を満たす者への信託財産の交付

## 3. E-Ship信託による当社株式の取得の内容

- (1) 取得する株式の種類： 当社普通株式
- (2) 取得の総額： 508百万円を上限とする
- (3) 取得の期間： 2023年12月14日～2024年1月12日
- (4) 取得方法： 取引所市場より取得

#### 4. その他

##### 役員の変動

##### (1) 代表取締役の変動

該当事項はありません。

##### (2) その他の役員の変動

- ・退任予定取締役（監査等委員である取締役を除く。）

取締役 菊地 正樹

(注)2024年1月30日開催予定の定時株主総会終結の時をもって任期満了により退任予定であります。

- ・退任予定取締役（監査等委員）

取締役（監査等委員） 久保 俊幸

社外取締役（監査等委員） 藤田 ひろみ

(注)2024年1月30日開催予定の定時株主総会終結の時をもって任期満了により退任予定であります。

- ・新任取締役（監査等委員である取締役を除く。）候補

社外取締役 平山 知宏

(注)平山 知宏氏は、株式会社東京証券取引所の定めに基づく独立役員として届け出る予定であります。

- ・新任取締役（監査等委員）候補

取締役（監査等委員） 阿部 慶介

##### (3) 就任予定日

2024年1月30日

##### (4) 新任取締役の略歴

氏名 平山 知宏

生年月日 1985年1月4日

略歴 2008年4月 ㈱博報堂DYメディアパートナーズ入社

2017年8月 ㈱ルームクリップ取締役CTO

2021年2月 ㈱ルームクリップ執行役員CTO（現任）

##### (5) 新任取締役（監査等委員）の略歴

氏名 阿部 慶介

生年月日 1963年5月12日

略歴 2003年7月 ㈱福岡銀行飯塚支店副支店長

2013年4月 同行三ヶ森支店長

2017年1月 福岡商事㈱保険部北九州支社長

2021年8月 ㈱福岡銀行監査部主任調査役（現任）